

【マレーシア】

5-6 月の市場動向トピックス

- 2018 年 5 月の訪日マレーシア人数は、前年同月比 1.1%増の 36,400 人であった。
- 2018 年 6 月の訪日マレーシア人数は、前年同月比 21.5%増の 36,500 人で、6 月として過去最高を記録した。
- イスラム暦の関係でラマダンの日程が 10 日程度早まった影響により、5 月の旅行需要が減少し、5 月としては微増に留まった。また、6 月はスクールホリデーの時期とハリヤ・プアサ(ラマダン明けの祝日)が重なったことにより、訪日需要の増加に大きく寄与した。

5-6 月の主なプロモーション活動

- ★ ファン数が 15 万人を数える JNTO マレーシアの公式 Facebook「Visit MY Japan」では、従来の観光地に加え、東北や九州、中国エリアなど地方の発信も積極的に行った。中でも一番人気のあった投稿は「三ノ倉高原のひまわり」。観光施設だけでなく、「食」「文化」「自然」など、あらゆる対象に関心が広がっていることが窺える。また、季節のコンテンツとして、「田舎館村の田んぼアート」や「着物の日」を取り上げ、夏場の需要喚起を図るなど、毎日継続的に情報発信を行っている。また、増加しつつあるムスリム旅行者に対しても、熊本にある「イスラミックセンター」を取り上げ、ムスリム旅行者が安心して滞在できる環境についての情報発信も行った。



三ノ倉高原のひまわり(福島県)



田舎館村田んぼアート(青森県)



川越きもの日(埼玉県)



熊本イスラミックセンター(熊本県)